

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

三井金属株式会社（証券コード: 5706）

【変更】

長期発行体格付	A → A+
格付の見通し	安定的
債券格付	A → A+

【据置】

国内CP格付	J-1
--------	-----

■ 格付事由

- エレクトロニクス向け製品を主に手掛ける機能材料事業、および亜鉛製錬に強みを持つ金属事業を展開している。技術力や製品開発力が高く、キャリア付極薄銅箔、二輪車向け触媒など高シェア製品を多数有する。また、全固体電池向け固体電解質や次世代半導体実装用特殊キャリアを中心に成長市場向けの製品開発にも取り組んでいる。事業ポートフォリオの選択と集中の一環として、25 年 11 月に自動車用ドアロックを手掛ける三井金属アクトの全株式を売却した。
- 収益力が一段と向上しており、今後も好業績を維持できる可能性が高い。機能材料事業は、AI サーバー市場の急速な拡大を背景にキャリア付極薄銅箔およびハイグレード VSP 箔の拡販が進んでいることに加え、製品価格改定の浸透により利益水準が底上げされている。今後も、生産性向上や新分野での採用を通じた拡販による収益貢献が期待される。金属事業は、非鉄金属市況や為替の変動により業績が左右されるものの、リサイクル処理能力の強化などにより、一定の利益貢献が見込まれる。財務面では、好業績を背景に有利子負債の削減および自己資本の拡充が進んでおり、財務基盤が強化されている。以上より、格付を 1 ノッチ引き上げ「A+」とし、見通しを安定的とした。
- 26/3 期経常利益は 1,367 億円（前期比 78.9%増）と過去最高益を更新した。銅箔などの販売量増加や金属事業での在庫評価の好転が利益を押し上げた。27/3 期経常利益は 930 億円（同 32.0%減）の計画である。機能材料事業は主力製品の拡販を見込むものの、金属事業の前期に計上した在庫評価益の剥落や大規模定期修繕による損益悪化が業績を下押しする見通しである。28/3 期以降、金属事業は市況環境に応じた業績変動を伴いつつも、機能材料の販売数量の増加が全社業績を牽引していくとみられる。
- 26/3 期末の自己資本比率は 59.1%（前期末 50.4%）と大きく改善している。今後、需要増加に対応した生産体制の構築、全固体電池向け固体電解質の初期量産工場などに伴う設備投資や M&A による相応のキャッシュアウトが想定される。一方、高いキャッシュフロー創出力や潤沢な手元流動性を踏まえると、財務内容が大きく悪化する懸念は小さい。

（担当）水川 雅義・中井 康一

■ 格付対象

発行体：三井金属株式会社

【変更】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A+	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第 21 回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	100 億円	2022 年 3 月 3 日	2027 年 3 月 3 日	0.430%	A+
第 22 回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	100 億円	2022 年 11 月 29 日	2027 年 11 月 29 日	0.580%	A+
第 23 回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	100 億円	2023 年 11 月 29 日	2028 年 11 月 29 日	0.863%	A+
第 24 回無担保社債（特定社債間限定同順位特約付）	100 億円	2024 年 11 月 28 日	2029 年 11 月 28 日	1.113%	A+

【据置】

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	500 億円	J-1

格付提供方針等に基づくその他開示事項

1. 信用格付を付与した年月日：2026年7月14日
2. 信用格付の付与について代表して責任を有する者：里川 武
主任格付アナリスト：水川 雅義
3. 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」（2014年1月6日）として掲載している。
4. 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/>）の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」（2024年10月1日）、「非鉄金属」（2024年4月2日）として掲載している。
5. 格付関係者：
（発行体・債務者等） 三井金属株式会社
6. 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度を等級をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関してのJCRの現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCRが格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
7. 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
 - ・ 格付関係者が提供した監査済財務諸表
 - ・ 格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
8. 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCRは、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
9. 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与にかかる手続には格付関係者が関与した。
10. JCRに対して直近1年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCRが、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCRは、明示的であると黙示的であるとを問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCRは、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCRは、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であるとを問わず、一切責任を負いません。また、JCRの格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCRの格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCRの格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCRが保有しています。JCRの格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCRに無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO登録状況

JCRは、米国証券取引委員会の定めるNRSRO（Nationally Recognized Statistical Rating Organization）の5つの信用格付クラスのうち、以下の4クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示はJCRのホームページ（<https://www.jcr.co.jp/en/>）に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL：03-3544-7013 FAX：03-3544-7026

株式会社 **日本格付研究所**

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官（格付）第1号

〒104-0061 東京都中央区銀座5-15-8 時事通信ビル